令和６年４月２日
公益社団法人 自衛隊家族会
東京都自衛隊家族会
会　長　　森山　尚直

令　和　６　年　４　月　「　月　報　」

＜会長挨拶＞

新年度を迎えました。寒暖差の大きい日々が続き、桜の開花は近年より遅れましたが、自衛隊の入隊式・入校式は、満開の桜の下で祝うことができそうです。

防衛省・自衛隊は、防衛力の抜本的強化を図っていますが、その態勢強化の一環として３月２１日に令和５年度末の部隊改編が行われました。

陸上自衛隊では、第７地対艦ミサイル連隊が勝連分屯地（沖縄県うるま市）新編され、第５地対艦ミサイル連隊（熊本市・健軍駐屯地）、西部方面特科連隊（司令部・北熊本駐屯地）等を隷下に持つ第２特科団（司令部・湯布院駐屯地・大分県由布市）がこれまでの西部方面特科隊を母体として新編されました。なお第６地対艦ミサイル連隊は、２００２年３月に廃止されており、第７地対艦ミサイル連隊の新編で、地対艦ミサイル連隊は６個体制となります。また、第３水陸機動連隊を竹松駐屯地（長崎県・大村市）に新編し、水陸機動団（司令部・相浦駐屯地）の隷下部隊の水陸機動連隊を３個体制に強化しました。

航空自衛隊では、宇宙作戦群（司令部・府中基地・東京都府中市）の強化も図られました。具体的には防府北基地に所在する第２宇宙作戦隊を強化しています。

また、サイバー防衛態勢では、陸上自衛隊の通信学校（久里浜駐屯地・神奈川県横須賀　市）のサイバー教育体制を強化し、学校名も「陸上自衛隊システム通信・サイバー学校」に改名しました。なお防衛大学校では、新年度から本科学生がサイバーに関する素養を身に着けるためのリテラシー教育の拡充も開始されています。

なお、１月１日に発生した能登半島地震に伴い第１後方支援連隊を含め、自衛隊は災害派遣を継続中です。心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、新年度も、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

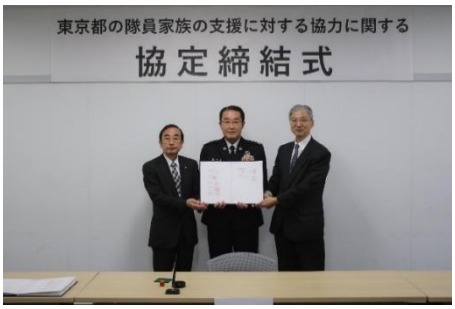
＜東自家族会の活動＞

１　令和６年３月の活動

（１）東京都の隊員家族の支援に対する協力に関する協定書の締結

３月７日（木）練馬駐屯地において、陸上自衛隊の東京都所在部隊の主導業務隊である練馬駐屯地業務隊（甲）と東自家族会（乙）及び東京都隊友会（丙）とで協定書

の締結行事を行いました。



この協定の陸上自衛隊の関係部隊等（甲）は、陸上自衛隊中央業務支援隊、同小平学校、同衛生学校、同教育訓練研究本部、同補給統制本部、練馬駐屯地業務隊、東立川駐屯地業務隊、立川駐屯地業務隊、自衛隊東京地方協力本部、陸上自衛隊関東補給処用賀支処となっています。

なお、協定締結については、おやばと新聞４月号に投稿しました。

（２） 東京地本主催の令和５年度入隊・入校予定者激励会（オンライン激励会）

令和６年３月９日（土）と１０日（日）に YouTube（ﾕｰﾁｭｰﾌﾞ）を用いた視聴者限定の東京地本主催の入隊・入校予定者激励会が実施されました。激励のメッセージでは、木原稔防衛大臣、小池百合子東京都知事、佐藤正久参議院議員とともに、森山会長も出演しました。

両日で約２２０の入隊・入校予定者が視聴したとのことです。

（３） 感謝状贈呈

３月１４日（木）、３月１８日付で第２高射特科群（松戸駐屯地）にご栄転される東京地本の家族会担当者に東自家族会長から感謝状をお渡し致しました。

平成２９年８月から６年８か月に亘って、東自家族会のご担当として多大なご尽力を頂きました。改めまして心より感謝申し上げます。

（４） 横須賀地方総監部での春の集い

３月２０日（水・祝）横須賀地方総監部で、「春の集い」が開催され、森山会長と菊池理事が出席致しました。横須賀地方総監の伊藤弘海将は、「私は隊員に、『令和５年度から我々は異次元の世界に入った。防衛力の抜本的強化のために、これまでにない予算がついており、我々はその理由を踏まえ、しっかりと任務を果たさなければならい』と話している。しかし、その抜本強化の鍵は人的基盤の強化であり、現在の厳しい募集状況への対応である。その中で、令和６年度予算案では、艦艇の乗組員手当が、これまでの３３％から４３％に、潜水艦の乗組員手当は、４５．５％から５５．５％に増額され、処遇改善が図られることになっている。」と述べました。

「集い」には約４００人の出席者があり、その中には、新潟県、栃木県、神奈川県などの家族会会長も出席しており、貴重な意見交換ができました。

２　４月以降の主な事業・行事

（１） 入隊式への参加

４月６日（土）に開催される第１普通科連隊の入隊式、４月７日（日）に開催される女性自衛官教育隊の入隊式に森山会長が出席して、保護者の方に自衛隊家族会の説明を実施します。

（２）令和６年度　第１回理事会

令和６年４月２０日（土）１３：３０～　東京地本本部会議室

議題：令和６年度定期総会の議事内容

なお、理事会の冒頭に、練馬駐屯地業務隊長などのご出席を得て、陸上自衛隊の家族支援協力についての質疑の時間を設ける予定です。

（３）令和６年度　定期総会等

令和６年５月２６日（日）１３：００～１９：００

総会　　：**１３：００**～　東京地本本部会議室

防衛講演会：１６：００～　ホテルグランドヒル市ヶ谷

講師は、元航空教育集団司令官の荒木淳一元空将です。

懇親会　　：１７：２０～　ホテルグランドヒル市ヶ谷

３　その他

（１）近郊の自衛隊のイベント情報（各部隊などのホームページより）

○　下志津駐屯地創立６９周年記念行事

令和６年４月２０日（土）下志津駐屯地（千葉市）

連絡先　陸自高射学校広報室　電話：043-422-0221（内線 471）

詳細については ＜高射学校ＨＰ＞ をご確認ください。

○　海上自衛会東京音楽隊第６６回定例演奏会

令和６年５月２１日（火）開場１７：３０　開演１８：３０

場所　すみだトリフォニーホール（東京都墨田区）

入場無料（座席指定券が必要です。）

応募期間：令和６年３月８日（金）～令和６年４月４日（木）23:59

応募方法：インターネットによる応募

※自衛隊東京地方協力本部ＨＰ からご応募ください。

（２） 東京地本のホームページ等より

トウチ君

東京都に所在し、自衛官の募集・退職自衛官の就職援護・予備自衛官等の管理を３本柱として、関係機関等に対する東京の窓口業務をしている 自衛隊東京地方協力本部、略して「東京地本（トウキョウチホン）」を表しています。東京都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフ。大人から子供まで親しみやすいデザインにより、しっかりとした足は陸上を、太くしなやかなボディは海上を、逞しい翼は航空を。陸・海・空の自衛隊で活躍する姿を表現しています。

さくらちゃん

東京都の花が「ソメイヨシノ」（桜）であり、東京地本はその東京の窓口業務担当している観点から「さくら」という素敵なお名前をいただきました。「トウチ君」と同じく、東京都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフ。名前が違うだけで「トウチ君」と見た目が同じ？いいえ。まつげがあって、全体的に少しスリムになっています。だって、女の子ですもの。男の子の「トウチ君」とは『同期』のさくらです。よろしくね♪

（３） 防衛情報紙「おやばと」について

自衛隊家族会の防衛情報紙「おやばと」について、第２回です。

おやばと紙面の改革　①

おやばとは、公益社団法人自衛隊家族会の公的事業の一つとして発刊しています。このため「会報」ではなく「防衛情報紙」となっています。

平成２１年の「公益社団法人」への移行申請時、内閣府より「おやばとは、父兄会事業の広報媒体であって、内容は会員に対する実施報告的な紹介事項がかなり見られ、一般国民への防衛理解の向上に資するべき公益性としての立証性に難しい面がある」とされ、紙面改革が求められました。

＜地区協議会だより＞

○　城南地区協議会

城南地区協議会は、３月１７日（日）に挙行された、自衛隊東京地本城南地区隊主催の入隊・入校予定者激励会に参加いたしました。激励会は１３時から渋谷区の（公財）水交会で、城南地区隊よりの入隊・入校予定者４６名とご家族１４名が出席され盛大に行われ、家族会の各地区会長を始め募連協城南地区会、城南地区隊後援会、関東防衛懇話会の方々も来賓として多数参加されました。

第一部の式典では城南地区隊長の開会のご挨拶に続き、東京地本長の横田陸将補や来賓代表の方々からのお言葉で、入隊・入校予定者の皆さんを激励いたしました。

また、第二部は、「入隊・入校予定者懇談会及び家族会説明」ということで、予定者の皆さんは入隊・入校のカテゴリー毎にグループに別れ、同期となられる皆さんで懇親を深められました。一方、家族会はご出席のご家族に対し家族会の説明と入会の勧誘をした後に、ご家族と各地区会長の皆さんで懇談いたしました。

城南地区隊として入隊・入校予定者激励会の開催は初めてということでしたが、予定者およびご家族の皆さんにとって大変意義深い、良い機会であったと感じました。

○　城北地区協議会　○　城東地区協議会　○　三多摩地区協議会

＜東京地本からの連絡事項＞

〒162-8850　東京都新宿区市谷本村町 10 番 1 号
自衛隊東京地方協力本部 東京都自衛隊家族会連絡所
TEL　03-5228-7833　　(FAX 同時切替)

東京都自衛隊家族会賛助会員のご紹介（登録順）

参議院議員 佐藤　正久　様	昭島ガス株式会社　代表取締役 平畑　文興　様
衆議院議員 松原　　仁　様	衆議院議員 長島　昭久　様
柴田法務会計事務所 柴田　純一　様	衆議院議員 松本　洋平　様
衆議院議員 小田原　潔　様	衆議院議員 山田　美樹　様